



卒業論文・卒業研究作成の手引き

日本大学危機管理学部

【令和5年度版】

危機管理学部 卒業論文・卒業研究について

学務委員会
教学サポート課

4年次履修科目である「ゼミナールⅣ」及び「危機管理特殊研究4」における成果物の標準的な体裁を以下に定める。実際の卒業論文及び卒業研究は研究分野・内容により作成方法が異なることもあるため、具体的な作成方法については、指導教員に確認しその指示に従うこと。

○ 執筆要領（共同執筆不可）

1 用紙・文字数（目安）

原稿は、Microsoft 文書作成ソフトウェア（Word）等で作成し、A4縦置き横書き、フォントは「MS明朝」で、大きさは10.5ポイントとする。文字数については10,000字以上（表紙、目次、資料、引用参考文献リストを含む）を目安とするが、内容によってはその限りではない。

2 表紙（本手引き「表紙例」参照）

原稿の表紙には、下記の事項を記載する。

- ① 卒業論文、卒業研究の別
- ② タイトル（サブタイトルがある場合はあわせて記載）
- ③ 学部、学生番号及び氏名
- ④ 指導教員名

3 目次

章立てを記載する。

4 本文

本文は日本語の場合は現代かな遣いとし、「である調」を用い、常用漢字を使用する。外国語は原語表記またはカタカナを用いる。本文より頁数を下中央に記入する。

5 論文の構成（例）

- ① 序論
研究の背景・研究の目的・先行研究の分析を記載する。
- ② 本論
研究の方法・結果・考察を記載する。
- ③ 結論
本論で展開した重要点を簡潔にまとめ、今後の課題を記載する。
- ④ 注・文献
注，引用・参考文献を記載する。
- ⑤ 資料
付属的なデータ，図表，質問紙など整理をして収載する。

6 提出期間及び提出方法

令和6年1月10日（水）～1月16日（火）午後6時 【厳守】

ゼミナール又は危機管理特殊研究の指導教員の指示に従い，Classroomにて通知されるGoogleフォームから提出すること。

なお，三軒茶屋キャンパスでは，「三軒茶屋キャンパス卒業論文・卒業研究の管理等に関する取扱」に基づき，提出された卒業論文・卒業研究（以下，「卒論等」という）を，三軒茶屋キャンパスが所有する資料として継続的に保管し，教育研究及び卒論等の執筆，制作の参考資料として，教職員及び学生が閲覧できるよう管理します。

については，以下の事項を確認し，Googleフォームにて同意の上，卒論等を提出してください。

【管理・取扱方法について】

- ① 卒論等の学外への公開は認めません。
- ② 卒論等の閲覧は危機管理学部及びスポーツ科学部に在籍する学生及び教職員に限ります。
- ③ 卒論等の複写（コピー等）は認めません。
- ④ 卒論等タイトル，著者，指導教員名，提出年度等の情報を図書館所蔵資料検索の検索対象とします。
なお，検索確認できるものは②の対象者に限ります。
- ⑤ 保存，管理については，日本大学個人情報取扱規程を遵守して適正に取扱います。

7 本文中での文献引用の方法

文献の引用は，当該学問分野の標準的方法による。

8 注意事項

- ① 実際の卒業論文・卒業研究作成条件は、指導教員の指示に従って作成すること。
- ② 執筆の際にはデータを小まめに保存し、指導教員からの添削等の修正ごとに作成日時を記す等の管理をしてデータのバックアップをとること。
- ③ 剽窃（ひょうせつ）・盗用の防止について注意し、著作権法を遵守すること。

剽窃（ひょうせつ）についての注意

剽窃とは、引用であることを示さずに他人の文章を自分のものとして発表することであり、学術上のモラル・ルールに反する行為である。他人の文章をそのまま、あるいは要約し、引用する際は、必ずそれが引用であることを明確にし、引用元を示す必要がある。このことは、図書のみならず新聞やインターネット上の文章にも当てはまる。例えば、引用であることを示さずにインターネット上の情報をコピー＆ペーストすることは剽窃となり、知的財産の盗用となる。

剽窃は専門の研究者の論文のみならず大学生の論文であっても決して許されない行為である。引用する際は、必ず引用元を記載し著作権法を遵守すること。

以 上

4行改行

18ポイント

令和5年度 卒業論文（又は卒業研究）

2行改行

○○○○タイトル○○○○

18ポイント

日本大学危機管理学部

学生番号 20R○○○○○○

氏名 ○○ ○○

指導教員 ○○ ○○ 教授